

各県協会の動き

鹿児島県

鹿児島県漁港漁場協会
(会長・田畑誠 いちき 申木野市長)は、5月24日(木)午後3時から、八ノノッポン鹿児島県において、第70回通常総会を開催した。

冒頭、田畑会長の挨拶に続き、来賓の鹿児島県知事(代理) 田崎寛、鹿島労働水産部長、鹿島県農林水産部長(代理) 田中良一、県議会議長(代理) 橋本牧(祝) 全国漁港漁場協会が祝辞を述べた。

議事に先立ち、鹿児島県漁港漁場協会表彰規程に基づく平成30年度功績者として、長元男理事長(東町漁業協同組合長、

終田謙夫理事長(奄美漁業同組合長)、田畑隆一郎氏(肝付町)、美国博行氏(西之表市)、また、優秀漁港(瀬戸)として、大隅地域振興局建設部河川港湾課に対して田畑会長から賞状と記念品が贈呈された。議事終了後、荒木耕治(久島町)議長、余金寛(分家)、平成30年度事業計画案、収支予算案、会費案を審議し、いずれも原案どおり承認された。また、役員改選が行われ、新理事が選任された。役員改選は、別室で理事の互選により、会長に川添健良(町長)、副会長に尾崎雅弥(水産市長)と田中八朗(村長)が選任された。また、平成30年度に開催される九州地区漁港漁場大会の開催(鹿児島県、宮城県)について概要を説明した。最後に川添会長より就任の挨拶があった。

宮城県

宮城県漁港漁場協会(理事長 菅原茂吉)は、6月4日(月)午後2時から仙台市(平)レソ宮城野において、平成30年度通常総会を開催した。

冒頭、菅原会長の挨拶に続き、水産庁漁港整備部副官長(代理) 長谷川隆行、水産庁漁港整備部副官長(代理) 佐々木公三、全国漁港漁場協会(会長 橋本牧)が祝辞を述べた。

菅原会長の挨拶に続き、水産庁漁港整備部副官長(代理) 長谷川隆行、水産庁漁港整備部副官長(代理) 佐々木公三、全国漁港漁場協会(会長 橋本牧)が祝辞を述べた。

議事に先立ち、副官長が「産庁漁港整備部副官長が祝辞を述べた。講演に入り「漁村の活性化と漁港の有効活用」と題する講演が行われ熱心に聴講した。

規程に基づき菅原会長の議長として議事に入り、平成30年度事業報告及び歳入歳出決算について、平成30年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)についての各議案を原案どおり承認された。また、役員改選が行われ、理事4名が新たに選任された。なお、通常総会の議事の閉会として(公社)全国漁港漁場協会から表彰された功績者が披露され、(公社)全国漁港漁場協会の橋本牧会長から気仙沼市役所前本吉総合支所産業課課長補佐(山崎隆和氏)に感謝状が授与されたほか、第69回全国漁港漁場大会への提呈事項の協会案を審議した。後には、水産庁漁港整備部副官長(代理)の牧野稔智(課長補佐)から「漁村の活性化」と題する講演が行われ、熱心に聴講した。

静岡県

静岡県漁港漁場協会(会長・中野弘道)は、5月25日午後3時から、ホテルアンビにて松原閣(焼津市)において、第69回通常総会を開催した。

冒頭、中野会長が「協会が新たな年計画がスタートし、漁村の活性化など新たな取り組みを推進し、漁村の活性化に貢献する」と述べ、48名が参加した。研究発表は、主催者代表 基礎整備担当 佐藤 吉田 幸史、同副担当 山田秀

度化などが新たな重要課題として盛り込まれた。漁港の老朽化対策など引き続き取り組むべき多くの課題があるが、漁村の健全な発展のため、皆様のサポートと協力を願っています」と挨拶した。

続いて、来賓が紹介された。全国漁港漁場協会の橋本牧会長が祝辞を述べた。

新藤康晴(初島漁協組合長)を議長に選出され、議事に入り、最初に、平成30年度事業報告、収支決算、並びに平成30年度事業計画・会費及び収支予算(案)について審議された。原案通り承認された。

また、役員補欠選任では、平成30年度退任された長谷川邦夫(副会長)と菅原謙一(理事)に代わり、鈴木精一(伊豆漁協取支所運営委員長)が選任された。

また、議員の補欠選任では、平成30年度退任された長谷川邦夫(副会長)と菅原謙一(理事)に代わり、鈴木精一(伊豆漁協取支所運営委員長)が選任された。

平成30年度市町漁港漁場担当者研修会の開催

佐賀県漁港漁場協会(会長・秀島敏行)は、5月19日(金)に佐賀市において、「平成30年度市町漁港漁場担当者研修会」を開催し、県、市町及び漁業協同組合の担当者等48名が参加した。

研修会は、主催者代表 基礎整備担当 佐藤 吉田 幸史、同副担当 山田秀

平成30年度市町漁港漁場担当者研修会の様子

佐賀県漁港漁場協会による研修会の様子

副議長の挨拶に続いて講師が行われ、出席者は熱心に聴講した。

特に今年度は、(一社)漁港漁場新技術研究会から山田博(専任)が講師として、(一社)漁港漁場新技術研究会会長の橋本牧氏と同研究会の理事 菅原謙一氏と研究会におかれ、全国的な課題である「干潟の機能回復対策等」について詳細かつ内容濃い講義を頂いて、より充実した研修会となった。

主な講義内容と講師は次のとおり。

- ① 干潟の環境改善のすゝめ、磯焼け対策と干潟機能の回復(一社)漁港漁場新技術研究会 菅原 謙一
- ② 水産基盤整備事業等(漁港整備)について(水産庁) 橋本牧
- ③ 漁港整備事業等について(水産庁) 橋本牧
- ④ 水産振興事業の留意点について(公明) 沿振特 対也
- ⑤ 会計検査等について(水産庁) 橋本牧
- ⑥ 災害時の対応等について(水産庁) 橋本牧

度化などが新たな重要課題として盛り込まれた。漁港の老朽化対策など引き続き取り組むべき多くの課題があるが、漁村の健全な発展のため、皆様のサポートと協力を願っています」と挨拶した。

続いて、来賓が紹介された。全国漁港漁場協会の橋本牧会長が祝辞を述べた。

新藤康晴(初島漁協組合長)を議長に選出され、議事に入り、最初に、平成30年度事業報告、収支決算、並びに平成30年度事業計画・会費及び収支予算(案)について審議された。原案通り承認された。

また、役員補欠選任では、平成30年度退任された長谷川邦夫(副会長)と菅原謙一(理事)に代わり、鈴木精一(伊豆漁協取支所運営委員長)が選任された。

また、議員の補欠選任では、平成30年度退任された長谷川邦夫(副会長)と菅原謙一(理事)に代わり、鈴木精一(伊豆漁協取支所運営委員長)が選任された。

佐賀県

平成30年度市町漁港漁場担当者研修会の開催

佐賀県漁港漁場協会(会長・秀島敏行)は、5月19日(金)に佐賀市において、「平成30年度市町漁港漁場担当者研修会」を開催し、県、市町及び漁業協同組合の担当者等48名が参加した。

研修会は、主催者代表 基礎整備担当 佐藤 吉田 幸史、同副担当 山田秀

山口県漁港漁場協会による研修会の様子

山口県漁港漁場協会による研修会の様子

副議長の挨拶に続いて講師が行われ、出席者は熱心に聴講した。

特に今年度は、(一社)漁港漁場新技術研究会から山田博(専任)が講師として、(一社)漁港漁場新技術研究会会長の橋本牧氏と同研究会の理事 菅原謙一氏と研究会におかれ、全国的な課題である「干潟の機能回復対策等」について詳細かつ内容濃い講義を頂いて、より充実した研修会となった。

主な講義内容と講師は次のとおり。

- ① 干潟の環境改善のすゝめ、磯焼け対策と干潟機能の回復(一社)漁港漁場新技術研究会 菅原 謙一
- ② 水産基盤整備事業等(漁港整備)について(水産庁) 橋本牧
- ③ 漁港整備事業等について(水産庁) 橋本牧
- ④ 水産振興事業の留意点について(公明) 沿振特 対也
- ⑤ 会計検査等について(水産庁) 橋本牧
- ⑥ 災害時の対応等について(水産庁) 橋本牧

山口県漁港漁場協会による研修会の様子

山口県漁港漁場協会による研修会の様子

副議長の挨拶に続いて講師が行われ、出席者は熱心に聴講した。

特に今年度は、(一社)漁港漁場新技術研究会から山田博(専任)が講師として、(一社)漁港漁場新技術研究会会長の橋本牧氏と同研究会の理事 菅原謙一氏と研究会におかれ、全国的な課題である「干潟の機能回復対策等」について詳細かつ内容濃い講義を頂いて、より充実した研修会となった。

主な講義内容と講師は次のとおり。

- ① 干潟の環境改善のすゝめ、磯焼け対策と干潟機能の回復(一社)漁港漁場新技術研究会 菅原 謙一
- ② 水産基盤整備事業等(漁港整備)について(水産庁) 橋本牧
- ③ 漁港整備事業等について(水産庁) 橋本牧
- ④ 水産振興事業の留意点について(公明) 沿振特 対也
- ⑤ 会計検査等について(水産庁) 橋本牧
- ⑥ 災害時の対応等について(水産庁) 橋本牧

山口県漁港漁場協会による研修会の様子

山口県漁港漁場協会による研修会の様子

副議長の挨拶に続いて講師が行われ、出席者は熱心に聴講した。

特に今年度は、(一社)漁港漁場新技術研究会から山田博(専任)が講師として、(一社)漁港漁場新技術研究会会長の橋本牧氏と同研究会の理事 菅原謙一氏と研究会におかれ、全国的な課題である「干潟の機能回復対策等」について詳細かつ内容濃い講義を頂いて、より充実した研修会となった。

主な講義内容と講師は次のとおり。

- ① 干潟の環境改善のすゝめ、磯焼け対策と干潟機能の回復(一社)漁港漁場新技術研究会 菅原 謙一
- ② 水産基盤整備事業等(漁港整備)について(水産庁) 橋本牧
- ③ 漁港整備事業等について(水産庁) 橋本牧
- ④ 水産振興事業の留意点について(公明) 沿振特 対也
- ⑤ 会計検査等について(水産庁) 橋本牧
- ⑥ 災害時の対応等について(水産庁) 橋本牧

愛媛県

第52回漁港漁場研修会開催

愛媛県漁港漁場協会(会長・中畑保一)は、6月8日(金)、松山市内の愛媛県水産会館において、県市町の漁港漁場担当者等68名の出席による、第52回漁港漁場研修会を開催した。

この研修会は、漁港漁場整備事業の円滑な推進を図るため、県市町漁港漁場担当者等68名の出席による、第52回漁港漁場研修会を開催した。

この研修会は、漁港漁場整備事業の円滑な推進を図るため、県市町漁港漁場担当者等68名の出席による、第52回漁港漁場研修会を開催した。

愛媛県漁港漁場協会による研修会の様子

愛媛県漁港漁場協会による研修会の様子

副議長の挨拶に続いて講師が行われ、出席者は熱心に聴講した。

特に今年度は、(一社)漁港漁場新技術研究会から山田博(専任)が講師として、(一社)漁港漁場新技術研究会会長の橋本牧氏と同研究会の理事 菅原謙一氏と研究会におかれ、全国的な課題である「干潟の機能回復対策等」について詳細かつ内容濃い講義を頂いて、より充実した研修会となった。

主な講義内容と講師は次のとおり。

- ① 干潟の環境改善のすゝめ、磯焼け対策と干潟機能の回復(一社)漁港漁場新技術研究会 菅原 謙一
- ② 水産基盤整備事業等(漁港整備)について(水産庁) 橋本牧
- ③ 漁港整備事業等について(水産庁) 橋本牧
- ④ 水産振興事業の留意点について(公明) 沿振特 対也
- ⑤ 会計検査等について(水産庁) 橋本牧
- ⑥ 災害時の対応等について(水産庁) 橋本牧

漁港往来

| | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 5月10日(水) | 島根県漁港漁場協会 | 5月23日(水) | 全国漁港漁場協会 |
| 5月16日 | 会事務局長山下博徳 | 5月25日(金) | 全国漁港漁場協会 |
| (水) | 橋本会長は神奈川県 | | 橋本会長は静岡県 |
| 青森県漁港 | | 5月31日 | 事は茨城県 |
| 漁場協会業務 | | 5月28日 | へ出張 |
| 5月17日(木) | 執行理事多森大氏 | | |
| 5月24日(木) | 全国漁港漁場協会 | | |
| 5月24日(木) | 橋本会長は鹿児島県 | | |
| 5月24日(木) | 青森県へ出張 | | |



佐賀県漁港漁場協会による研修会の様子



山口県漁港漁場協会による研修会の様子



愛媛県漁港漁場協会による研修会の様子